

平成27年7月1日発行

編集発行 157号

社会福祉法人  
宇都宮市社会福祉協議会  
宇都宮市中央1丁目1番15号  
宇都宮市総合福祉センター内  
電話 028-636-1215(代)  
FAX 028-638-9856  
http://www.utsunomiya-syakyo.or.jp

宇都宮市社会福祉協議会 検索

# うつのみや



# 社協だより



## 福祉協力員表彰式・委嘱状交付式を 開催しました!



5月22日(金) 宇都宮市文化会館において、福祉協力員表彰式・委嘱状交付式を開催しました。

第1部では、10年以上の長きにわたり、地域福祉にご尽力いただいた福祉協力員の方々への表彰を行いました。

また、第2部では、2年間の任期でこれから活動していただく福祉協力員の方々へ委嘱状の交付を行い、記念講演「なじみある地域生活を続けていくために～昨今の認知症の人の介護から考える～」と題して、NPO法人「風の詩」/社会福祉士事務所「風のささやき」代表の永島徹氏より、講演していただきました。

「うつのみや社協だより」は、



です。よろしくお願い申し上げます。

皆さまからのお預かりした社協会費は、宇都宮市社協が推進する地域福祉事業に活用されています。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



会長就任のごあいさつ



# 新会長に 横松 薫氏 選任

小林辰興会長が退任し、平成27年3月28日に開催されました理事会におきまして、後任に、横松薫氏が選任されました。

この度、宇都宮市社会福祉協議会会長に就任いたしました横松でございます。地域の皆さまには、日頃から社会福祉協議会の事業推進に深いご理解、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

宇都宮市社会福祉協議会は地域福祉を推進する団体として、地域の生活・福祉課題の解決のため、「第3次宇都宮市地域福祉活動計画」に基づき、地区社協・自治会連合会・民生委員児童委員協議会・地域包括支援センター等関係機関と連携し、ともに支えあい助けあう“向こう三軒両隣”の地域社会の実現を目指しています。これからも地域の皆さまとともに、地域に密着した福祉活動を積極的に展開してまいりますので、なお、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成  
26  
年度

## 宇都宮市社会福祉協議会 決算報告

平成27年5月20日の理事会、5月28日開催の評議員会において、平成26年度の事業及び収支決算報告について承認されましたので、ご報告いたします。

### 事業別決算額 (支出済額)

#### (1) 社会福祉事業

①法人運営	246,512,762円
②福祉活動推進事業	48,795,391円
③ボランティアセンター事業	13,952,970円
④総合相談センター事業	4,009,288円
⑤権利擁護センター事業	9,538,800円
⑥ざんなん基金事業	25,274,136円
⑦善意銀行事業	200,000円
⑧共同募金配分金事業	44,636,313円
⑨生活福祉資金貸付事業	8,471,309円
⑩社会福祉資金貸付事業	5,754円
⑪老人福祉センターの運営	205,877,270円
⑫地域活動支援センターの運営	43,684,000円
⑬障がい者福祉センターの運営	36,516,000円
⑭宇都宮市総合福祉センターの運営	75,536,000円
⑮河内総合福祉センターの運営	56,871,000円

⑯訪問介護事業	39,416,851円
⑰通所介護事業	25,295,961円
⑱居宅介護支援事業	16,058,152円
計	900,651,957円

#### (2) 公益事業

①地域包括支援センター御本丸の運営	32,703,551円
②上河内地域包括支援センターの運営	26,320,360円
③身体障がい者福祉バス事業	9,068,089円
④障がい者生活支援センター事業	16,024,849円
⑤日中一時支援事業	21,199,271円
⑥ファミリーケアサービス事業	4,391,609円
⑦生活困窮者自立相談支援事業	992,848円
計	110,700,577円

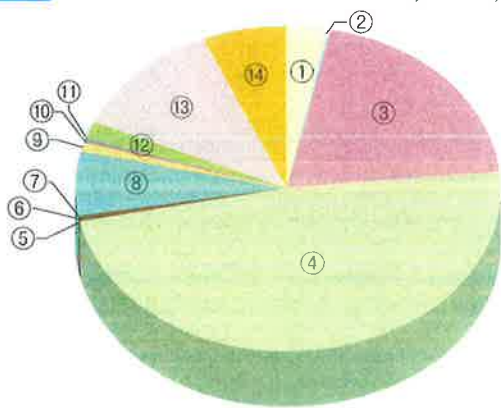
総合計 1,011,352,534円

### 収支決算額

#### 収入

1,116,706千円

(単位：千円)

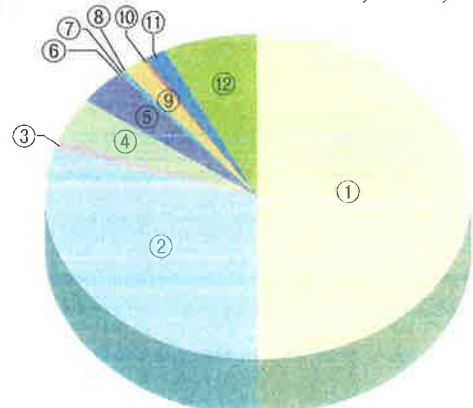


①会費収入	36,206	⑧介護保険事業収入	69,567
②寄付金収入	3,761	⑨障害福祉サービス等事業収入	11,750
③経常経費補助金収入	223,649	⑩受取利息配当金収入	2,461
④受託金収入	538,609	⑪その他の収入	2,096
⑤貸付事業収入	27	⑫基金積立資産取崩収入	19,105
⑥事業収入	6,565	⑬その他活動収入	132,052
⑦負担金収入	76	⑭会計・拠点・サービス区分繰入金	70,782

#### 支出

1,011,352千円

(単位：千円)



①人件費支出	507,077	⑦返還金支出	77
②事業費支出	300,957	⑧固定資産取得支出	5,901
③事務費支出	9,467	⑨基本積立資産支出	16,137
④共同募金配分金事業費支出	44,636	⑩積立資産支出	3,000
⑤助成金支出	35,905	⑪その他の活動支出	17,037
⑥負担金支出	376	⑫会計・拠点・サービス区分繰出金	70,782

差引残高 105,354千円

平成  
26  
年度

宇都宮市社会福祉協議会

# 事業報告



平成27年3月31日現在

## 1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり

### (1) 福祉のこころの醸成と交流活動の促進

#### ①赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動の推進

ア. 赤い羽根共同募金

イ. 歳末たすけあい募金運動



#### ②やさしさをはぐくむ福祉の

まちづくり推進協議会支援

の充実

ア. 「walk in うつのみや at 福祉の祭典」の開催

イ. 心のバリアフリーハンドブックの改訂



③宇都宮市民福祉の祭典支援の充実 (参加団体86団体)

### (2) 福祉に関する人材の育成と共育の推進

#### ①ボランティア養成の推進

ア. ボランティア体験プログラムの実施

(全12回/延78人)

・ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市まちづくりセンターと共催で実施しました。

イ. 各種ボランティア養成講座の実施

(7講座/延464人)



#### ②福祉共育講座の充実

ア. 出前福祉共育講座の実施

(延146回/延4,595人)

イ. 福祉共育・ボランティア推進フォーラムの推進

ウ. 福祉共育副読本・DVD作成事業の推進

## 2. 安心して暮らせる仕組みづくり

### (1) 社会参画の促進

#### ①老人クラブ支援の充実 (337クラブ/19,287人)

・各地域において介護予防や相互支援に取り組んでいる単位老人クラブの支援及び市老人クラブ連合会の組織強化を図りました。

#### ②地区福祉まつり支援の充実

#### ③男性高齢者調理講習会の充実

・65歳以上の男性を対象に、自立した生活が送れるよう調理法を学ぶとともに、仲間作りや交流を図りました。



### (2) 情報提供体制の充実

#### ①総合相談センター機能の強化

(開設回数延360回/相談件数延699件)

#### ②地域福祉に関する広報・周知・啓発等情報発信の充実

ア. 広報紙の発行 (年4回発行)

イ. ホームページの充実

ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

### (3) 組織体制の強化

#### ①会務の運営

#### ②苦情解決体制

(苦情対応件数16件)

・各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、問題解決のための第三者委員を設置し、対応しました。

### (4) さまざまなニーズに応じたサービスの提供

#### ①法人後見事業の実施

(法人後見受任10件/相談件数延49件)

#### ②介護保険事業の充実

ア. 訪問介護事業の運営

イ. 通所介護事業の運営

ウ. 居宅介護支援事業の運営

エ. 障がい福祉サービスの運営

#### ③指定特定相談支援事業所・障害児相談支援事業所の運営

#### ④福祉車両貸出サービス事業の推進

・公共交通機関の利用が困難な方で、通院等のために、車いすのまま乗降できる福祉車両を貸出しました。

#### ⑤車いす等福祉機器・機材の貸出サービス事業の推進

(貸出件数延348件)

#### ⑥移送サービス事業の推進

#### ⑦福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

#### ⑧ひとり暮らし高齢者ふれあい訪問事業の推進

(利用者延4,910人/配達本数延58,609本)

・70歳以上の一人暮らし高齢者の方へ乳酸飲料を配り、安否確認等を行いました。

#### ⑨福祉機器・介護用品展示室の開設

#### ⑩社会福祉資金貸付事業

#### ⑪各種事業に対する共催・後援





### 3. 地域で支えあうまちづくり

#### (1) 共に支え合う地域づくり

- ①コミュニティワークの推進
- ②地区社会福祉協議会支援の充実
  - ア. 地区社協会長研修会の開催
- ③ふれあいいきいきサロン事業の推進(32地区/126か所)
- ④安心・安全情報キット配付事業の推進  
(累計34地区/延13,703名)
- ⑤自治会・民生委員児童委員協議会・まちづくり推進協議会・地域包括支援センター等関係機関等の連携・協働の推進
- ⑥福祉団体などとの連携・協働の推進
- ⑦まちづくりセンター等市民活動機関との連携・協働の推進
- ⑧各種行事助成・各種団体に対する補助
  - ア. 第8回宇都宮市民福祉の祭典
- ⑨ボランティアセンター機能の充実
  - ア. ボランティア相談・登録・調整の充実
    - ・各種相談・問合せ (延10,320件)
    - ・ボランティア活動調整件数 (延594件)
    - ・ボランティア登録数 (212団体/7,933人)
    - (個人/111人)
  - イ. ボランティア団体への活動支援の推進



- ⑩災害ボランティア活動等の実施
- ⑪ファミリーケアサービス事業の充実
- ⑫ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進



#### (2) 市民の主体的な地域活動への支援

- ①小地域福祉活動計画策定の促進
- ②福祉協力員制度の推進 (39地区/2,372人)
- ③社会福祉協議会会員制度の充実  
(会員108,113件/会費36,127,074円)
- ④ぎんなん基金事業の充実  
(寄附136件/3,507,564円)
- ⑤善意銀行事業の促進
  - ア. 金銭・物品の預託・払い出しの実施
- ⑥敬老会開催の支援



### 4. 指定管理施設等の管理・経営

#### (1) 指定管理施設の管理・経営

- ①老人福祉センターの管理・経営  
(5施設/年間利用者延249,334人)
  - ・ことぶき会館、ふれあい荘、やすらぎ荘、すこやか荘、上河内老人福祉センター
- ②地域活動支援センターの管理・経営 (3施設)
  - ・雀の宮作業所、若草作業所 (利用登録者31人)
  - ・障がい者福祉センター (利用登録者延117人)
- ③総合福祉センターの管理・経営 (2施設)
  - ・宇都宮市総合福祉センター(会議室利用者延71,798人)
  - ・河内総合福祉センター  
(会議室利用者延11,775人・大広間利用者延26,291人)



#### (2) 市からの受託事業等の実施

- ①障がい者生活支援センター事業  
(支援対象者延870人・相談件数延1,821件)
- ②地域包括支援センター事業 (相談件数延682件)
  - ア. 地域包括支援センター御本丸
  - イ. 上河内地域包括支援センター
- ③日中一時支援事業 (利用者延5,636人)
  - ・あっとほーむ・うだい、あっとほーむ・すずめ、あっとほーむ・かわち、河内地域活動支援事業所
- ④身体障がい者福祉バス事業  
(利用者団体延170団体/利用者延3,887人)



- ⑤奉仕員養成講座 (3講座/受講者延1,294人)
- ⑥要約筆記者派遣事業(派遣件数77件/活動者延104人)
- ⑦宇都宮市高齢者等地域活動支援ポイント事業  
(認定団体数182団体/対象者数5,140人)
  - ・高齢者の社会参加や健康づくり、生きがいづくりを応援するポイント事業を実施しました。



- ⑧生活困窮者自立相談支援事業(モデル事業)  
(相談件数延141人・支援件数延794件)
  - ・経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することが難しい方に、自立に向けた相談支援を行いました。
- ⑨援護事業 (行旅人への旅費貸付142件)

#### (3) 県社協からの受託事業等の実施

- ①権利擁護センター「あすてらす」事業  
(利用者124人/相談件数延2,554件)
- ②成年後見制度利用促進事業 (栃の実基金補助事業)
- ③生活福祉資金等貸付事業  
(貸付件数61件/相談件数延1,694件)
- ④コミュニティワーク推進モデル事業
  - ・コミュニティワークを実践していくための体制づくりや、研修等によりコミュニティワーカーの資質の向上を図りました。

ボラセン  
情報コーナー



ボランティアセンターで行っている事業をご紹介します

# 気軽にできるボランティア活動

## プルタブ(アルミ製)収集ボランティア

収集ボランティア活動の一つに、「プルタブ収集」があります。

この活動で集まったプルタブは、資源回収業者に買い取ってもらい、その益金を宇都宮市の地域福祉活動やボランティア活動の推進・支援のために有効活用させていただいています。

今後も引き続き、市民の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

☆プルタブとは…?

缶ジュースの飲み口などを開けるとき、指をかけて引くつまみの部分です。



### プルタブをご寄附いただく際のおねがい

缶には「アルミ製」と「スチール製」のものがあり、プルタブも同様です。

アルミ製のはリサイクルできるため業者に買い取ってもらえますが、スチール製は買い取ってもらうことができません。また、集めているうちにプルタブ以外の物が混入してしまうこともあります。

ご寄附いただく前に、アルミ製とスチール製に分別した上で、アルミ製のみのご寄附をお願いします。

#### 分別の仕方

①「空き箱(菓子箱などで可)、割り箸、磁石(丸型)、セロテープ、集めたプルタブ」を用意しましょう。



②割り箸の間に磁石を挟み、セロテープで「グルグルツ」と止めましょう。



セロテープで  
磁石をとめる

③プルタブを空き箱に入れ、割り箸を持って箱の中を「ジャラジャラ♪」とかき混ぜましょう。



④スチール製のプルタブは、磁石に「カチツ」と付きます。磁石に付いたものはスチール製なので、取り除き、資源ごみとして出しましょう。



★アルミ缶からプルタブ部分を取り外す際には、ケガに十分お気をつけください。

引き続き、皆さまのご協力をお願いします

お問  
い合  
わせ

※「ボランティアセンター登録団体紹介コーナー」は、今回はお休みです。

ボランティアセンター(総合福祉センター8階) 電話:636-1285 FAX:634-2870  
ホームページもご覧ください。「宇都宮市社協ボラセン」で検索



# サロン 紹介コーナー

## 東峰南自治会ゆうゆうサロン(石井地区)

～参加者50名!? 大所帯のサロン～

### ★ 基本情報

開催日時： 毎月第2・4火曜日 10時～15時  
 場 所： 東峰南自治会公民館  
 代 表 者： 小野義一さん(自治会長・福祉協力員)  
 立ち上げ動機： 地域包括支援センターの介護予防教室

### ★ 基本プログラム

10:00 体操・脳トレ・今日のメニュー  
 12:00 昼食休憩  
 13:00 映画鑑賞やカラオケ  
 15:00 解散



### 運営は福祉協力員が主体!

サロンの運営の中心(世話人)は、福祉協力員です。司会や運動指導、裏方など、それぞれが役割を持ち、積極的に協力しています。



### サロンのアピールポイント

50名を越すこともあるほど、多くの方に参加いただいています。健康長寿を目指して男性女性年齢に関係なく、運動や脳トレ、レクリエーションに取り組んでいます。とても居心地のよい、笑顔の絶えないサロンです。毎回楽しみにされている方も多く、昨年度は皆勤賞の方が6人もいらっしゃいました。



### 大勢の参加が得られている理由は?

東峰南自治会は約700世帯の大所帯で、自治会活動がとても活発です。口コミや、一人ひとりに声をかけ、参加者を募っており、参加者は常に増え続けていて、うれしい悲鳴が聞こえています。

## 城東地区 松本邦子さん(平松西自治会)

### ★ 活動内容

活動年数：9年  
 活動内容：城東いきいきサロンスタッフ・城東ふれあい会食会スタッフ  
 地区敬老会・城東フェスティバル・文化祭への協力  
 見守り活動



松本さんの笑顔が、地域を明るくしています!

### サロン活動を通して

サロン活動への協力を9年ほど続けています。参加者の皆さんが笑顔になっていただけるよう、冗談を言いながら明るく楽しく活動しています。最初は6～7名ほどだった参加者も、今では30名を越えるほどのたくさんの方に参加していただけるようになり、とてもうれしいです。



### 活動を続ける原動力は?

皆さんに会いたいから。そして、皆さんが笑顔になってくれることが、活動の原動力になっています。



## ナガイサロン(河内地区)

～ご近所さん集まれ! 自宅開放型サロン～

### ★ 基本情報

開催日時： 月曜日(概ね月に2回) 10時～13時頃  
 場 所： 永井正平さん宅  
 代 表 者： 永井正平さん(自治会長・民生委員)  
 立ち上げ動機： 近所の福祉協力員や主婦の会合の際に、自宅の離れを使ってもらったこと。

### ★ 基本プログラム

- ・何はともあれ“世間話”
- ・のんびりと“お茶会”
- ・近隣の方々からの“相談”
- ・真面目に聞く“健康講話”
- ・楽しく“カラオケ”
- ・時々“日帰り旅行”

### 自宅を開放し、近所の方々の“居場所”をつくりました。

何気ない会合や、趣味を共有する“居場所”として、永井さんと、顔見知りの近所の方々や福祉協力員の情報交換、相談の場所として開放し、有意義な時間を過ごしていました。今年度から「ふれあい・いきいきサロン」としてリニューアルし、より多くの方々に来ていただけるよう、サロンとしてのメニュー(プログラム)を拡充しました。



### サロンのアピールポイント

- ・個人宅を開放したサロンなので、気兼ねなく普段着のまま来れるところです。
- ・スペース的にはそんなに広くありませんが、いつも10人くらいの方が集って楽しい時間を過ごしています。
- ・よらず相談の場所としても、今後近所の方々に気軽に利用してもらいたいです。

# 福祉協力員 紹介コーナー

## 横川地区 蟻沢幸子さん(下栗4丁目自治会)

### ★ 活動内容

活動年数：18年  
 活動内容：下栗4丁目自治会さわやかサロンスタッフ・横川地区ふれあい配食事業スタッフ・下栗4丁目老人クラブスタッフ・横川地区ふれあいまつり協力・見守り活動



地域みんなが蟻沢さんの笑顔に引き寄せられます!



### サロン参加がきっかけで自治会加入!?

ほかの地区から引っ越してきた一人暮らしの男性。「さわやかサロン」に初めて来た時は、笑顔も会話もありませんでした。名字ではなく、名前で声をかけてみると、男性の緊張がほぐれ、笑顔になりました。ずっと加入しなかった自治会にも入るようになりました。

### サロンの盛り上げ役!

「輪投げをして、大きな声を出すのが楽しい!」と参加者の皆さんが言ってくれます。一緒に輪投げをして、冗談を言って、楽しく明るい雰囲気づくりを心掛けています。





# 日本赤十字社「社費」にご協力お願いします 赤十字活動は皆さまが支えています！



血液事業

日本赤十字社が実施している国際救援活動や国内の災害救護活動、また身近に行われている救急法などの講習普及事業、学校等で行う青少年赤十字活動(JRC)などの様々な活動は、財政面で支援する「社員」の皆さまからの「社費」と、広く皆さまから寄せられる「寄附金」を合わせた「社資」によって支えられています。



救急法等講習

ぜひ、赤十字の事業活動をご理解いただき、一人でも多くの方が社員となってくださるよう、ご協力をお願いします。



国内災害救護

※平成26年度は、**44,626,901**円のご協力をいただきました。  
ありがとうございました。



赤十字ボランティア

日本赤十字社  
公式マスコットキャラクター  
「ハートラちゃん」  
日赤の活動を皆さんに広く  
知っていただくために活躍し  
ますので、これからもどうぞ  
よろしくお願ひいたします。

日本赤十字社の「社員」とは、赤十字の活動に賛同し、毎年500円以上の資金協力してくださる方のことです。

個人・法人を問わず、どなたでも「社員」になることができます。

## ぎんなん基金



ご協力ありがとうございました。

皆さまのあたたかい善意に心より感謝いたします。  
ぎんなん基金は地域福祉事業に活用させていただきます。

平成27年4月1日～5月31日

寄附順・敬称略

	寄附者(団体)	金額(円)
4月	老人福祉センターふれあい荘 お客様一同	391
	丸田 シズエ	3,000
	ステップ希望 会長 石川孝子	4,000
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	31,000
	小杉オートサービス 有志一同	12,000
	関東西濃運輸 労働組合 宇都宮支部	100,000
5月	ソーシャルダンス愛好会 代表 日向トモエ	5,000
	なかよし善行ネットワーク 代表 宋 美恵	20,000
	ステップ希望 会長 石川孝子	5,500
	(有)匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	6,000
	御幸地区コミュニティセンター管理	69,650
	一般社団法人 日本競輪選手会栃木支部	135,000

## 心のバリアフリーハンドブック (改訂版)を作成しました！

宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会では、これまでのハンドブックを見直し、障がいごとに「知ってほしいこと」「配慮をお願いしたいこと」について各関係団体の方に原稿を寄稿いただき、このハンドブックを作成しました。

イラストは、文星女子高校の学生の皆さんに描いていただき、とてもわかりやすいハンドブックになっています。ぜひ、お手にとってお読みください。

※このハンドブックは、市社協ホームページよりダウンロードもできます。

【お問い合わせ】  
宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進協議会事務局（市社協内）  
地域福祉課（総合福祉センター5階）電話 636-1215

